

安全講演会の開催

- 〔開催日〕 令和元年6月25日（火） 14：30～16：00
- 〔場 所〕 日本原子力研究開発機構原子力科学研究所 大講堂
- 〔講 師〕 大場 恭子 氏 （日本原子力学会倫理委員会委員長）
- 〔演 題〕 「ヒューマンファクターの視点から安全を創る
－ 人がエラーをするのはなぜか。普段の安全はどうやって
実現しているのか。－」

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所における全国安全週間行事の一環として、安全講演会が6月25日に日本原子力学会倫理委員会委員長の大場恭子氏を講師にお招きして開催された。

東海ノア協定加盟の7事業所からの15名を含む、192名の方々が聴講された。

講演会では、大場講師から、人は錯覚、疲労など様々な特性が原因でエラーをしてしまうが、その特性を意識しないと対策が機能しないことが紹介された。

その上で、エラー発生防止に効果を発揮している企業の例が示され、「人こそが安全を守り、向上させる資源である。」との考えに基づいて、議論・対話・展開・浸透等、人に重点を置いた安全の創出が効果的であることが紹介された。また、原子力科学研究所の「おせっかい運動」も有効であることが述べられた。



講演会の様子